派　遣　報　告　書（報告者；椋園　亨　　）

大会名	平成２６年度　全国高等学校総合体育大会 第６７回全国高等学校バスケットボール選手権大会
開催地	千葉県船橋市（男子）、八千代市（女子）
日　時	平成　２６年　７月　２９日～　８月　２日
担当ｹﾞｰﾑ	（男女　１回戦）法政大学第二（神奈川）　ｖｓ　松江西（島根）
相手審判	主審；前田　信氏（兵庫県）Ａ級

ミーティング内容（主任：加藤氏（東京都）ＡＡ級　国際

日本人のレフリーが外国に行って称賛されるのは当たり前の事をきちんとするというところ。一つ一つの動作をマニュアル通りにしっかりやることが大事。

マニュアルに載っていない動作はしないほうがいい。二人の協力としてプレカンファレンスでもっと詳しく話しておく必要がある。１ゲームを通して、二人ともお互いに気を使いながらやっているように見えた。まだまだ積極的にやっても良かったのではないか。

担当ｹﾞｰﾑ	（男女　　回戦）　　ｖｓ
相手審判	主審・副審：　　（　　県）

ミーティング内容（主任：　　）

今大会に参加しての感想など

7月２９日に千葉県に入り、３０日、３１日の二日間で研修を受け、モデルゲームを担当させて頂いた。研修会ではリードの受け方やトレイルの見方等を勉強させて頂いた。講師の安西先生より右に見に行くことは左を捨てる事では無いという言葉に非常に感銘を受けました。モデルゲーム（安城学園　ＶＳ　市立柏）（女子）と上記の男子の１試合でこの大会を終えたわけですが、全国の審判員と共に過ごす中で色々な事を考えさ

せられた大会でした。国体や全国クラブ、インターハイといった全国大会を終えた大分が今まで経験した財産を失わないためにも自分も含め、改めて気持ちを入れ直すことが必要だと痛切に感じました。
最後に長期間に渡り手厚く面倒を見て頂いた千葉県バスケットボール協会の皆様や、
派遣をさせて頂いた御手洗審判長をはじめとする審判部、大分県バスケットボール協
会、大分県高体連に感謝を申し上げます。